

駒場

1991

東京大学教養学部



KOMABA1991

COLLEGE OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

COLLEGE OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

**[駒場] 1991**

#### 表紙について

---

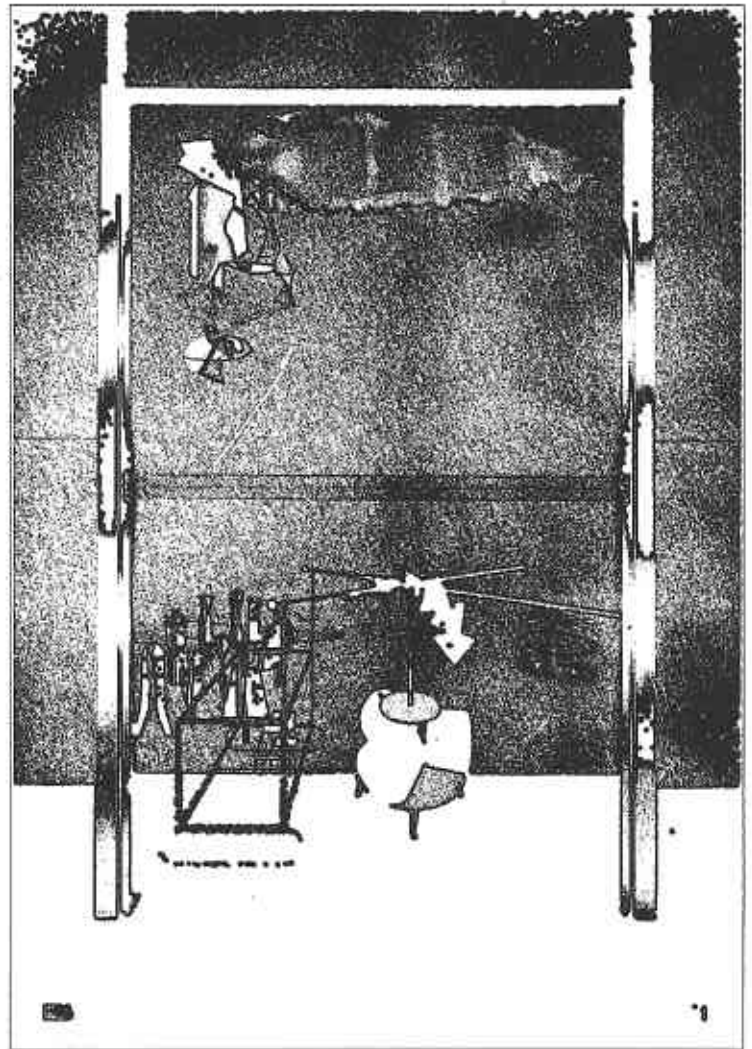
マルセル・デュシャン  
〈彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁、さえも〉  
東京ヴァージョン

今世紀を代表する芸術家のひとりであるマルセル・デュシャン(1887-1968年)が、1915年から23年にかけてつくりつづけ、未完のまま中断したこの現代美術の傑作(フィラデルフィア美術館蔵)を、本学部美術博物館はストックホルム近代美術館、ロンドンのテイト・ギャラリーにつづく世界で3番目のレプリカとして所蔵している。これは1978年から、80年にかけて、当時の小山弘志学部長を委員長とする「デュシャン〈大ガラス〉制作実行委員会」が、故瀧口修造と東野芳明両氏の監修の下、学内外から多くの援助を受けて制作したもので、原作者自身が生前に許可した最後のヴァージョンとなった。実際の作業には東京大学および多摩美術大学の院生と学生からなるスタッフがあたり、原作の制作過程をできるかぎり忠実に再現することを意図してつくられている。デュシャン未亡人によってもっとも美しくクリアなレプリカとの評価を得たこの作品は、今日でも多数の観客を美術博物館に引き寄せている。

(写真撮影=安齋重男)

COLLEGE OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

# [駒場] 1991



東京大学教養学部

# 駒場 1991

## 東京大学教養学部

### ●目次

[駒場]1991発刊に際して ————— 7

### I. 教養学部はどのような組織か

1. 教養学部の理念と目標 教養学部長 原田義也 ————— 10
2. 沿革と現状ならびに将来計画 ————— 14
3. 各種委員会 ————— 28
4. 人事—任用と昇任 ————— 33
5. 予算の現状と問題点 ————— 34
6. 施設の現状と将来計画 ————— 35
7. 職員の組織と現状および将来像 ————— 37
8. 助手と技官 ————— 39
9. 外国人教師と外国人客員研究員 ————— 41
10. 附属施設などの活動 ————— 48  
(図書館/アメリカ研究資料センター/言語文化センター/教育用計算機センター駒場支所)
11. 地域社会との関連 ————— 52  
(オルガン演奏会/自然科学博物館/美術博物館)

### 付属資料1

1. 国際的な活動  
国際シンポジウム — 58 国際共同研究 — 63 招聘教授 — 68  
交換教授 (外国よりの来訪/外国への赴任) — 70 招聘講演 — 72
2. 学外からの評価  
国外 (叙勲/受賞) 国内 (文科系/理科系) ————— 86
3. 研究活動の公表  
紀要/定期刊行物 ————— 90
4. 科学研究費 ————— 94

### II. 教養学部では、誰がどのように研究教育を行っているのか

- 教授会構成員の経歴と業績 文科系 ————— 111  
教授会構成員の経歴と業績 理科系 ————— 184  
([駒場]フォーラム—123, 137, 151, 165, 179, 195, 205, 215, 225, 235)

### III. 教養学部にはどんな学生が、どのようにして学んでいるのか

1. 学生選抜の方式 ————— 242
2. カリキュラム 全学一般教育ゼミナールと総合コース ————— 246
3. 進学情報センター ————— 268
4. 留学生相談所と外国人留学生の現状 ————— 270
5. 学生相談所の活動 ————— 271
6. 保健センター (駒場支所) ————— 272
7. 学寮、学生会館、課外活動施設 ————— 274

### 付属資料2

1. 平成3年度 志願、合格、入学状況 ————— 276
2. 定員の推移 ————— 277
3. 平成3年度クラス編成表 (1年/2年) ————— 278
4. 平成3年度開講数一覧 ————— 280
5. 外国人研究生 ————— 282  
書誌 ————— 283